

DX推進の成功の法則は「データ活用」
DXの目的に合った「ツール選定の考え方」とは？

パナソニック インフォメーションシステムズ株式会社
ブレインズテクノロジー株式会社



アンケートにご回答いただいた方へ、 本日の発表資料をお送りします

アンケート

各設問に回答後、画面下の「回答」をクリックしてください。

アンケートにご協力ください_できる管理者はOSとアプリを分ける！？～「苦労あるある」から考える、VDIの最適解～

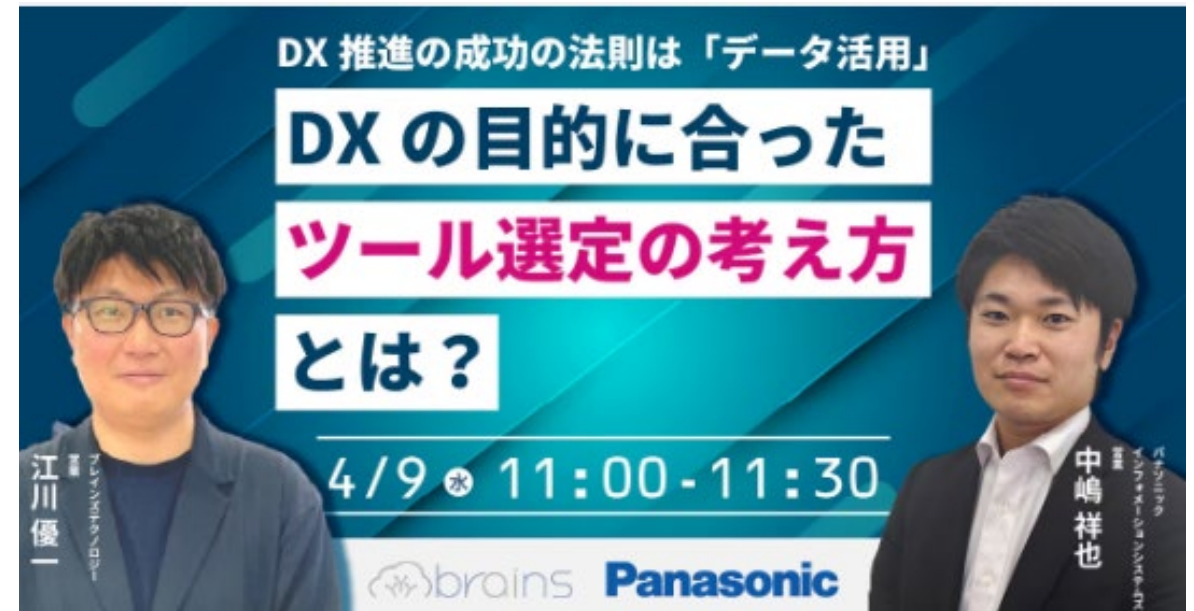
必須 1.会社名

必須 2.お名前

必須 3.セミナー資料を希望されますか

希望する

希望しない



セミナー終了後、本日のセミナーの「アンケート」が表示されます。
ご回答いただいた方へ、本日の発表資料をお送りします。

お気軽にご質問ください

- 「もしかして、もう既に話してた内容かな？」と思っても、お気軽に聞いてください。
- どんな初歩的な質問でもOKです。
- 具体的な質問、Welcomeです。



氏名 中嶋 祥也(なかじま しょうや)

役職 パナソニックインフォメーションシステムズ株式会社
カスタマーサクセス本部 営業統括部
東日本ソリューション営業部 東日本第二営業所

経歴 ・ 民間企業向けソリューション営業

エリア 東日本エリア、民間市場

パナソニックグループでの挑戦を通じ、B2B市場へ価値を提供

社名 パナソニック
インフォメーションシステムズ株式会社

所在地 大阪府大阪市北区末広町2番40号
Panasonic XC OSAKA

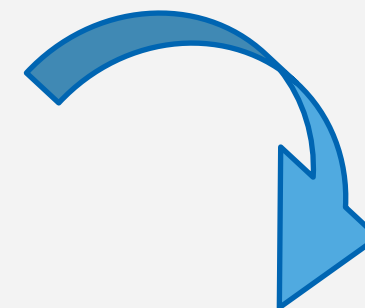
東京都中央区銀座8丁目21番1号

設立 1999年2月22日

資本金 1,040百万円

従業員数 1,352名(2024年4月時点)

事業内容 情報サービス





氏名 江川 優一(えがわ ゆういち)

役職 ブレイズテクノロジー株式会社
製品開発部 Neuron セールス

経歴

- ・ サーバホスティング 設計/営業
- ・ ソフトメーカー製品販売 兼
NW ハード、他社製品などのSI 提案

エリア 全国、全市場

ミッション:

企業活動の継続性と生産性の劇的な向上に貢献する

社名 ブレインズテクノロジー株式会社

所在地 東京都港区高輪3-23-17

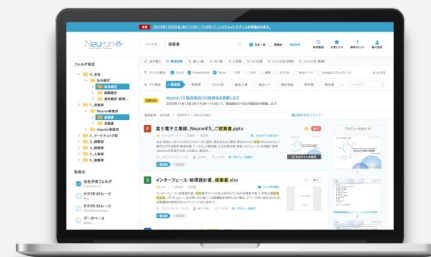
設立 2008年8月8日

資本金 599,276千円

従業員数 70名(2024年7月末)

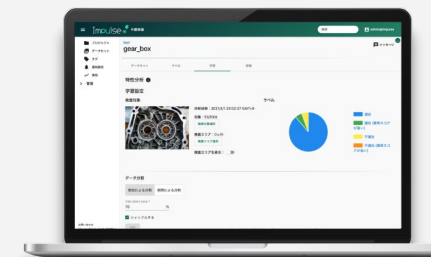
上場市場 東証グロース

事業内容 エンタープライズAIソフトウェア事業
- データ検索製品の開発・提供
- データ分析製品の開発・提供



企業内全文検索エンジン

Neuron 
Enterprise Search



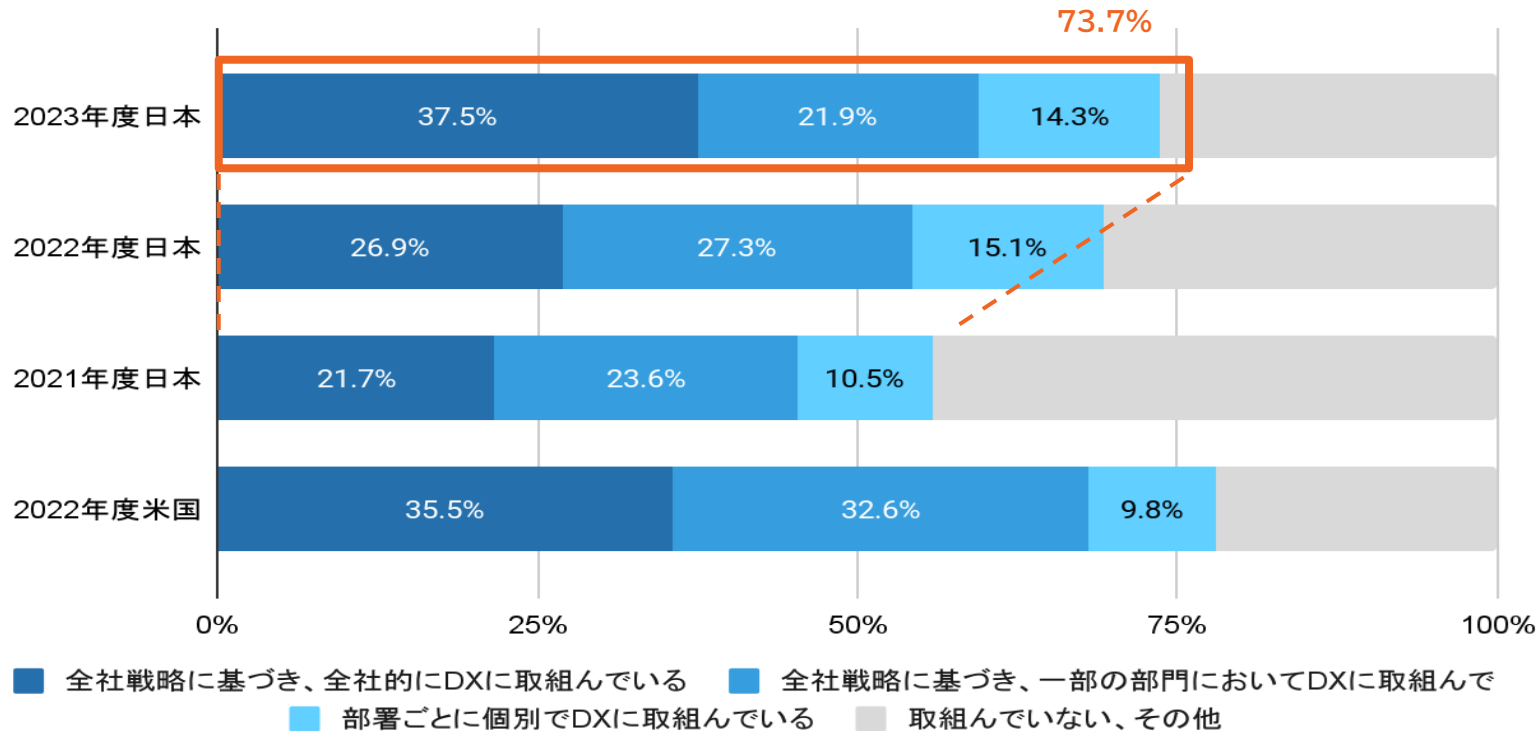
異常検知ソリューション

Impulse 

- DXの現状(5分)
 - 国内企業の取組状況
 - IT投資動向
 - DXの成果
 - まとめ
- 対話型生成AIの注意点(3分)
- 対話型生成AIとエンタープライズサーチの違い(5分)
- エンタープライズサーチ「Neuron ES」のご紹介(4分)
 - 製品案内
 - 事例
- Neuron ES デモご案内(8分)
- 最後に(2分)

DXの現状

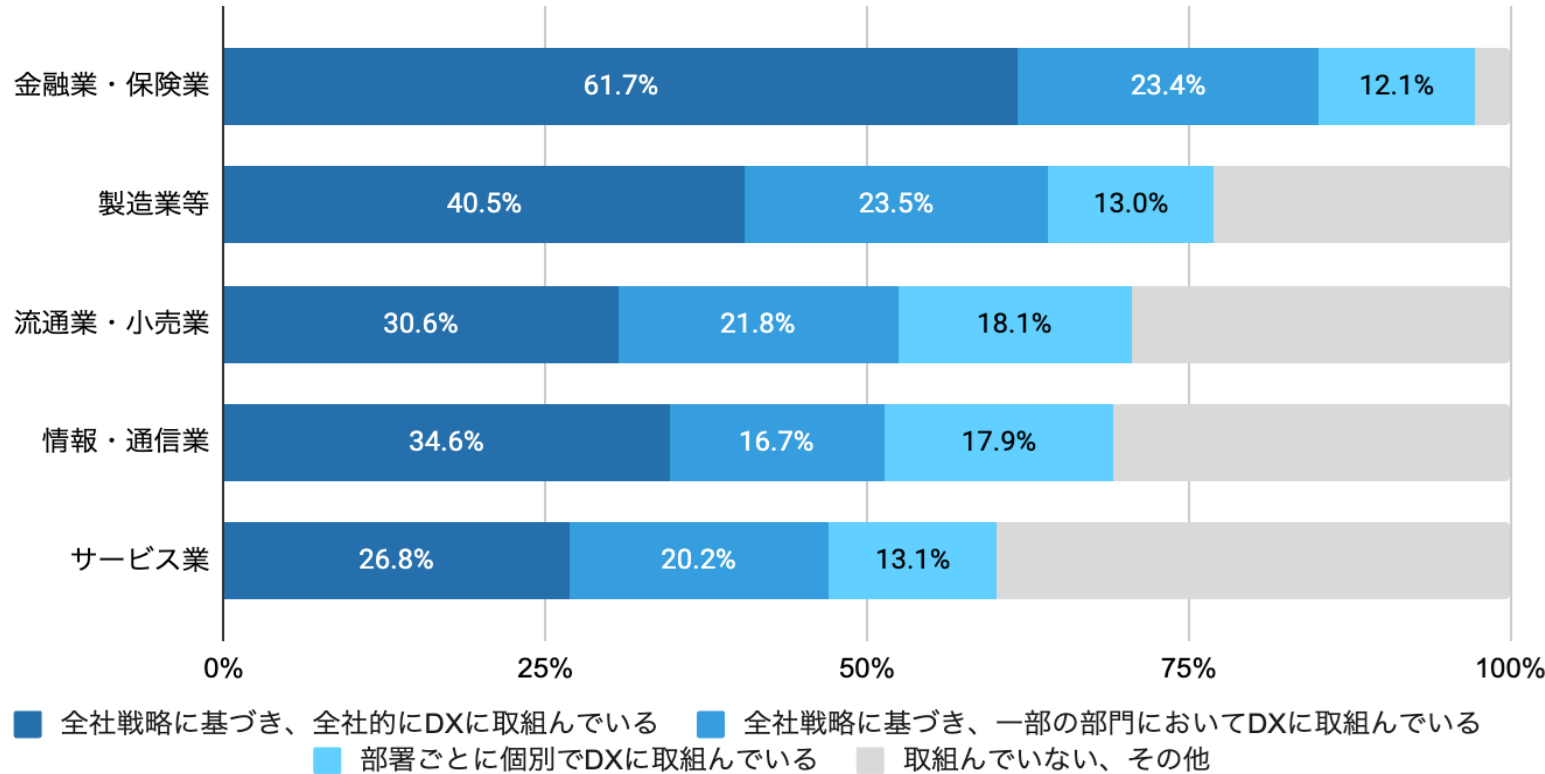
【国内企業のDX取組状況】



- DXに取り組んでいると答えた企業の割合は、2021年度55.8%だったのに対し、2023年度73.7%と大きく増加。米国の2022年度水準(77.9%)に近づいた。
- **DXの取組は日本企業でも当たり前の企業活動の一部になってきた。**

(出典)「[DX白書2024](#)」(発行:IPA)を元に当社作成

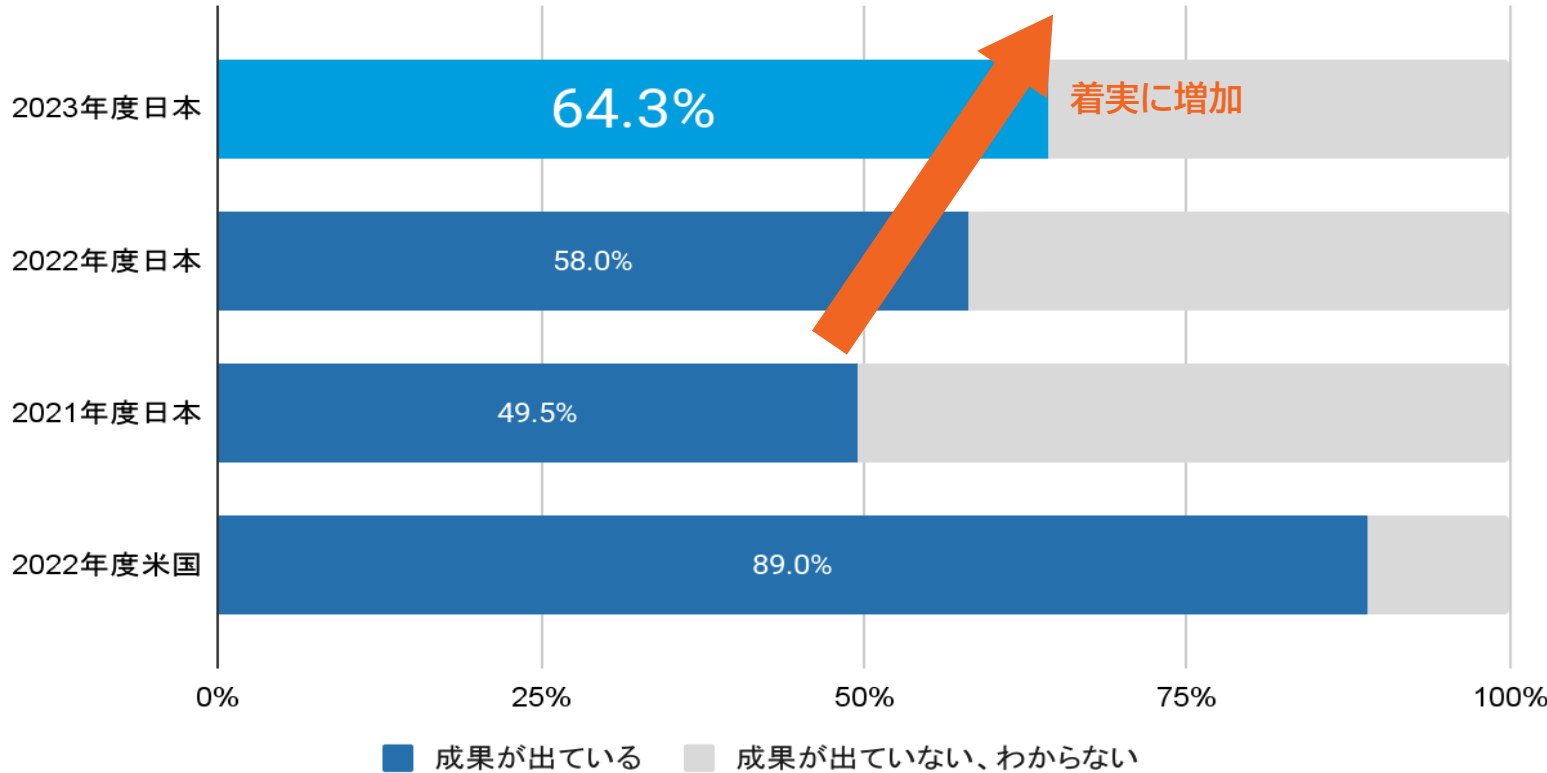
【DX取組状況(業種別)】



- DXに取り組んでいる企業の回答割合は「金融業・保険業」が97.2%と圧倒的に高く、次いで「製造業等」(77.0%)、「流通業・小売業」(70.5%)、「情報・通信業」(69.2%)となっている。
- 業界による差異はあるものの、どの業界でもDXの取組みが進んでいる。

(出典)「[DX白書2024](#)」(発行:IPA)を元に当社作成

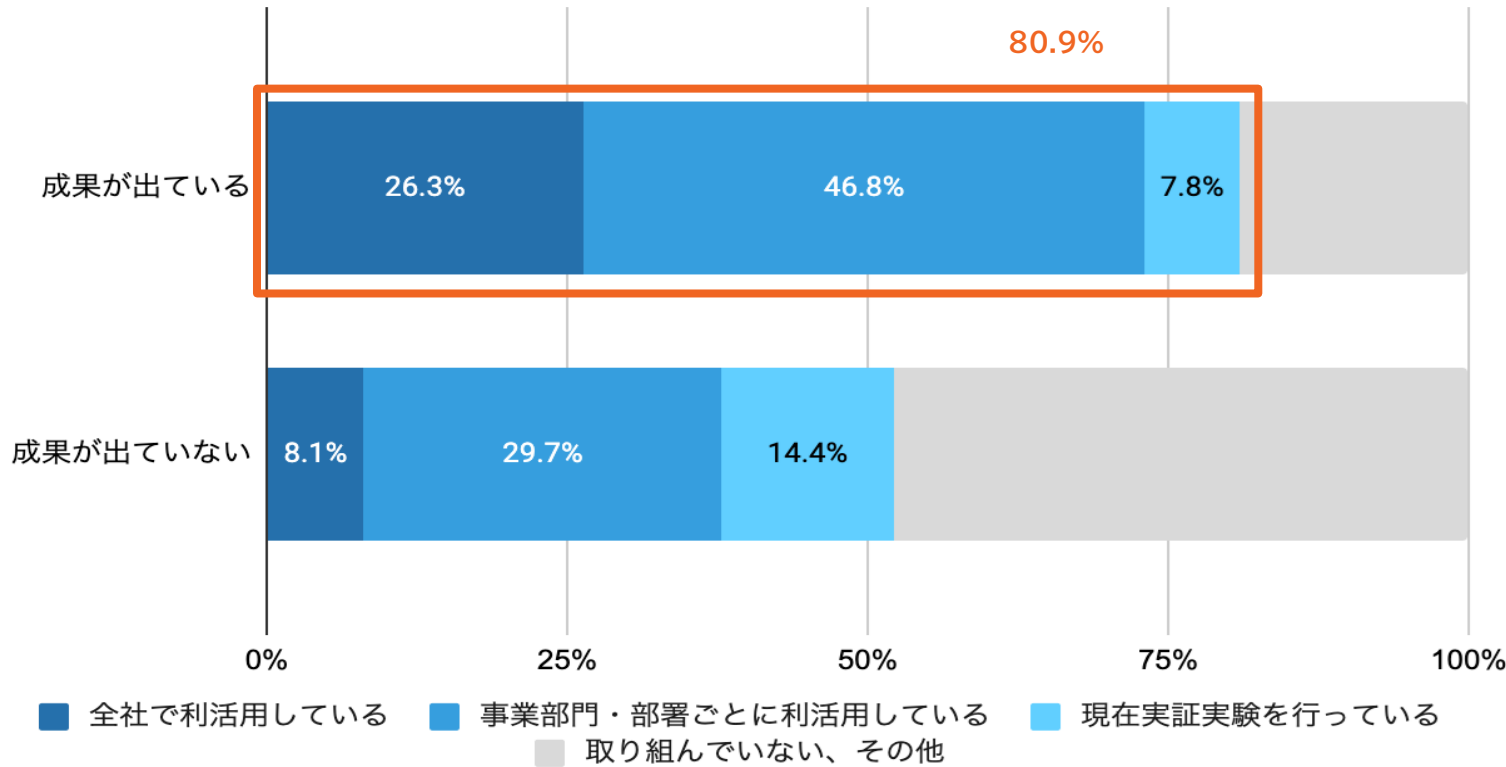
【DXの成果状況(経年変化および米国との比較)】



- DXに取り組んでいる企業のうち「成果が出ている」企業の割合は、**2021年度から着実に増加(49.5%→64.3%)**
- 一方、米国(2022年度)では89.0%の企業で成果が出ており、日米差は依然として大きい。

(出典)「[DX白書2024](#)」(発行:IPA)を元に当社作成

【データの利活用状況(DX成果別)】



- DXの成果が出ている企業のうち80.9%はデータの利活用を行っていたことがわかった。
- 「DX白書2024」(発行:IPA)によると、DXを推進するためには以下2点が必須であり、
 - ①ビジネス環境の変化に迅速に対応できるITシステムの整備と社内外システムの連携による競争領域の強化
 - ②ビジネス上のニーズに合致するデータ活用と分析これらを実現する手段として、データの利活用やAIの導入などが考えられる。

(出典)「[DX白書2024](#)」(発行:IPA)を元に当社作成

対話型生成AIの注意点

日々増えるデータをアップロードする運用が辛い。

ボリュームが大きいとコストが結構高い。

大量データからの回答精度がイマイチ。

精度の高い回答にはプロンプト設計しないとイケない。



情報となるデータをアップロードするだけで使えるので手軽にスタートできる。

ボリュームにもよるが、割と安価に使える。

人に聞く手間が減った。
質問されることも少なく業務に集中できる。

日々増えるデータをアップロードする運用が辛い。

大量データからの回答精度がイマイチ。

精度の高い回答にはプロンプト設計しないとイケない。

使い方や規模によっては、手軽に安価に利用できるが
情報化が進む中で、将来的なボリュームや期待値を考えないと
効果が薄いAI活用になってしまいます。

そのため、『目的』を明確にする必要があります。

情報となるデータをアップロードするだけではない。このデータをどう活用できるか。

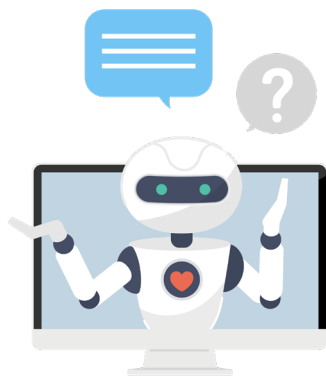
ボリュームにもよるが、割と安価に使える。

人に聞く手間が減った。質問されることも少なく業務に集中できる。



対話型生成AIとエンタープライズサーチの違い

対話型生成AI



- ユーザーの質問文に対し
「AIが登録ドキュメントから要約生成した回答」を表示

エンタープライズサーチ



- 「企業内に保管されたデータ」を
保管場所を意識することなく
「一括で横断検索」し検索結果を
表示させる仕組み

社内問い合わせ時のQA負荷軽減

社内問い合わせデスク用に
チャットボットを導入済みだが、
Q&Aリストのメンテに苦勞している。



⇒ **対話型生成AI**

従来型チャットボットで必要だった
Q&Aリストのメンテが不要に！

バラバラに保存されたデータの活用

ファイルサーバやBox、Notesなど、データが横断的に保存されており、上手く活用できていない。

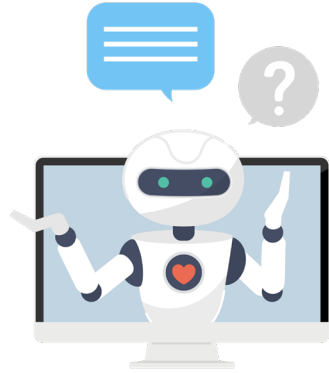
⇒ **エンタープライズサーチ**

横断検索は

エンタープライズサーチの得意分野



対話型生成AIとエンタープライズサーチ 使い分け



対話型生成AI

- 大量の問い合わせ対応
- 業務時間外の対応
- 同じような質問が多い業務
- 社内規定の確認
- 設計ノウハウ確認
- 過去トラブル事例確認
- ナレッジの再活用
- 部門特有の質疑に特化



エンタープライズサーチ

- データそのものを検索
- バラバラに保存されたデータを横断検索
- 資料作成の効率化
- 暗黙知の可視化
- 新しい発見の創出
- ナレッジマネジメント
- 部門問わず、検索可能



『生成AI連携』 エンタープライズサーチ

- 検索自体はエンタープライズサーチと違いなし
- エンタープライズサーチにて検索したファイルを元データに生成AI連携
- 検索したデータを元に生成AIを利用するため、高精度な回答を得ることが可能

DX目的で導入される「Neuron ES」

- データ利活用の課題を解決するためには、複数に点在する電子データの横断的な検索やナレッジベースを有効活用するための仕組みが必要。代表的なツールとして弊社ではエンタープライズサーチ「[Neuron ES](#)」を提供している。
- 「Neuron ES」は、オンプレミス・クラウド問わず社内のデータストレージを横断的かつファイルの中身まで全文検索できる「データ利活用」のためのDXツール。



横断検索

多様なデータソースへの高い接続性

単一インターフェース

1つのインターフェースでデータソース全体に存在する関連性の高い情報を発見

統合インデックス

構造化コンテンツと非構造化コンテンツを単一のインデックスに統合

セキュリティ

自分の権限を持つ文書のみが検索結果に表示

行動データ

タグ付けや文書の絞り込み、社員の検索状況把握

AI

リコメンドで検索補助、自然言語処理

発見

人間が記憶できる文書はほんの一部。
アクセス可能な情報量が増えることで、
新たな発見や示唆を得ることが可能になります。

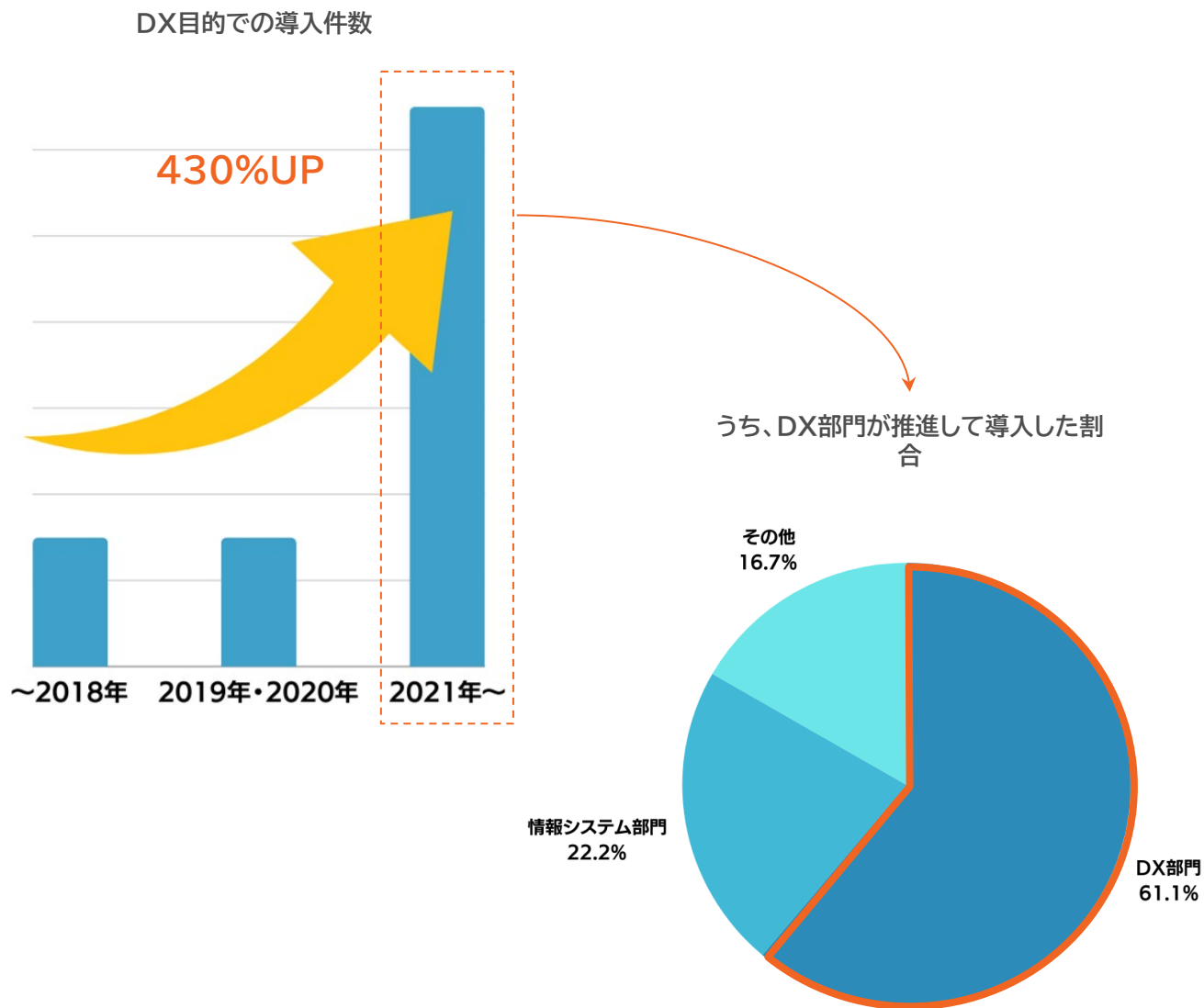
活用

過去の資産を活かした資料作成や
広い範囲の情報獲得により、資料
の質・スピードが高まります。



共有

必要な情報を発見できるので、個人
で所持していた資料や共有フォルダ
へ保管するサイクルが生まれます。
社員の知がより共有されるスパイラル
が生まれます。



- 2012年リリース後、累計400ライセンス以上の導入実績がある「Neuron ES」は、2021年以降DX推進を目的とした導入が大幅に増加。
- 「Neuron ES」をDX目的で導入したお客様のうちDX部門の方が推進していたケースが半数以上であった。

製造業



情報通信業



建設業



その他



販売開始
2012年



ITトレンド年間ランキング
8年
連続 **1位**



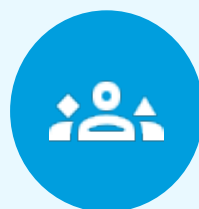
HP事例公開
60社以上



ライセンス販売本数累計
400以上



ITトレンドGoodProduct
5回 連続
認定



四半期平均継続率
99%以上



マニュアルレスで簡単操作
年代問わず、すぐに使えてすぐ見つかる

簡単

シンプルなUI/UX設計
誰もが直感的に操作可能

マニュアルレスで利用可能なためユーザー教育コストがかからない。年代問わず利用者がすぐに使いこなせる設計。

高速
高精度

高速インデックス化
日本語が高精度にヒット

独自の技術により文書量が増えてもインデックス化のスピードを高速維持可能。
国産ソフトウェアならではの日本語検索精度に強み。

低価格

短期間・低コストで
スモールスタート成功支援

多くの海外メーカー製品は高額。低価格で始められ、コストパフォーマンスに優れたシステム。

発見

活用



研究資料、企画書、社内ナレッジの発見・利活用

導入の背景

過去の研究資料や企画書を素早く探したいという現場の声がかきつけ

決め手

普段のインターネット検索のように使いやすそうな画面と、ブラウザ利用で導入・管理が容易だと判断

導入効果

研究資料や企画書など、社内ナレッジの発見や過去資料の利活用によって生産性向上に貢献

導入時は比較的若い世代から利用されるのかなと予想していましたが、実際導入してみると、**世代問わず幅広い年代の方から利用されている**ことが分かりました。
いつでも手軽に目的の情報が検索できるというのは、若い世代だけでなく、上の年代の方にとっても**心強いツール**になっているようです。



導入の背景

ファイルサーバが整理されておらず検索に時間がかかっていた

決め手

工事写真の黒板に書かれた文字をOCRで読み取り検索対象にできた

導入効果

情報収集の時間削減、類似事例などナレッジの発見

目的のファイルにたどり着く時間が速くなりました。「Neuron ES」導入前は見つけ出すまで15～30分は要していたと思います。導入後は数分で見つけられるようになりました。また、**ADで設定したアクセス権をそのまま反映**することが可能な点も助かっています。

発見

活用

導入の背景

スタッフ業務の生産性向上(業務効率30%アップ)実現のため

決め手

検索スピードの速さとシンプルなUI

導入効果

1000時間/月以上の削減効果



ナレッジ活用で1000時間/月以上の削減

「Neuron ES」の検索スピードは群を抜いています。ユーザーに実際に製品を触ってもらうと一言目には必ず「早い！」と驚きの声が出るほど。

目的の文書に素早くたどり着けるようになっただけでなく、**思わぬ文書が見つかる**ようになりました。社内で「**すごい資料が見つかった、ちょっと見て!**」という声をよく聞きます。

発見

活用



業務前の予習やナレッジシェアにも貢献

導入の背景

全社的な働き方改革への取り組みを背景とした社内へのアンケート実施

決め手

費用対効果が高く、また直感的な検索画面で定着化が見込まれたため

導入効果

従業員一人あたり10時間/月以上もの情報収集のムダ時間を削減

Neuron ESにおいては評価期間含めてほぼ操作説明が不要で、**従業員も直感的に使ってくれたため、導入後すぐに利用が定着**すると思えました。
いつでも**気軽に好きなキーワードで社内のナレッジを検索できる**ので、新しい働き方との相性も良いと思います。



「働き方改革ITツール」として情報収集効率化貢献

[発見](#)[活用](#)

導入の背景

社内のデータ量が増大(70TB以上)し、必要な情報が素早く・タイムリーに探し出せない弊害が発生

決め手

検索スピードの速さとシンプルな操作性でありながらも、必要十分な機能が備わっている点

導入効果

情報収集の効率アップ(利用者1,300人/月、クリック数20,000回/月)

Neuron ESを導入してからは、**各資料内にある断片的なキーワードの記憶を辿り、それをもとに検索をかけることができるようになった**ため、非常に重宝しています。リモートワーク以前であれば隣の人に聞いていたことでも、ある程度**自力で情報を探すという方向に傾きました**。それも「Neuron ES」の存在が大きかったと感じています。



コールセンターにおけるナレッジマネジメントの活用

資料の登録に特別な手順も必要無く、この点も非常に使いやすいです。
Neuron ESの導入によって**情報の集約・閲覧箇所を一元化**できていたため、新型コロナで急遽在宅勤務が始まって環境整備の負担はほとんどありませんでした。**社内の情報共有、展開がスムーズにできた**のもNeuron ESのおかげです。

発見

活用

導入の背景

お客様との接点の多岐化に伴う情報量増加で「目的の資料が探しだせない」といった運用課題が出てきた

決め手

検索/運用両面でのシンプルさとライセンス費用の安さ

導入効果

在宅勤務開始後、利用者数・検索件数が2倍以上増加。
入社開始後も利用率は定着

発見

活用

導入の背景

紙文書のデジタル化や組織改正に伴う業務効率化

決め手

LGWAN環境下・大規模自治体での運用実績を評価

導入効果

資料検索の時間削減率86.6%を実現、行政対応の品質担保にも貢献



膨大な電子データを活かした資産に

資料の中身まで対象とする「全文検索」機能によって、過去の事案と対応事例などを検索によって自ら発見することができるため、新しく異動した職員や経験の浅い職員でも効率的に仕事ができるようになりました。現在は食品衛生課での利用に限定されていますが、今後全庁で利用できるようになれば、より大きな導入効果が期待できるのではないのでしょうか。



検索キーワードで目的の書類を素早く簡単に探せることの利便性を実感

発見

活用

導入の背景

庁内のフリーアドレス制・ペーパーレス化への取り組み

決め手

自治体での実績なども確認し、実用性の高い製品であったこと

導入効果

システム導入による検索時間の削減効果は平均約60%と試算できた

削減時間に職員の平均給与を当てはめることで金額による費用対効果も試算したことや、予算の承認に関わる財政部門の職員にも実際に「Neuron ES」に触れてもらうなどを行い、無事に全文検索システム導入の予算を確保することができました。



部署横断のナレッジ共有で資料作成時間短縮

Neuron ESは、業務中に情報を探す時間を大幅に削減しているだけでなく、「こんな資料があったのか」と思わぬ資料の発見にもつながっています。

発見

活用

導入の背景

部署横断でナレッジを共有する取り組みの一環として

決め手

情報検索性の高さ

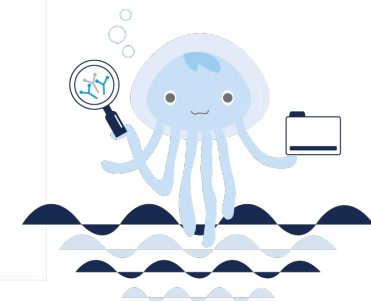
導入効果

ナレッジ共有による資料作成時間の短縮

デモンストレーション

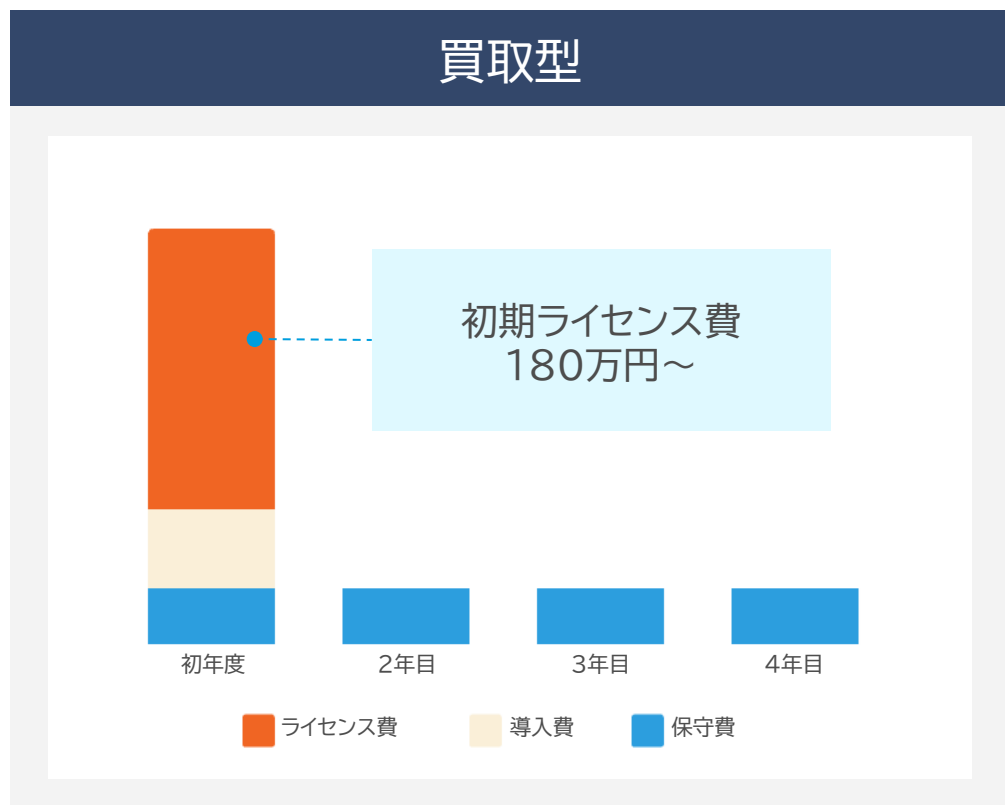
■ 動作環境・機能一覧(Webサイト)

The screenshot displays the Neuron Enterprise Search web interface. At the top, there is a search bar with the placeholder text "検索キーワードを入力してください" and a search button. Below the search bar, there are filter options: "条件" (Conditions) with radio buttons for "内容" (Content), "パス名" (Path Name), and "ファイル名" (File Name); "表示順" (Sort Order) set to "関連度順" (Relevance); and "全て含む" (Include All) with a dropdown menu. There are also checkboxes for "完全一致" (Exact Match) and "類義語" (Synonyms). A red banner at the top right says "キャンペーンのお知らせ" (Campaign Notice). On the left side, a vertical sidebar labeled "フォルダ指定" (Folder Specification) is visible. The main content area is divided into two sections: "取得元" (Source) and "ファイル種別" (File Type). The "取得元" section has a sub-header "全て開く | 全て閉じる" (Expand All | Collapse All) and a list of folders with checkboxes: Box (32), Dropbox (31), FileServer (51), JDBC_demo (5), OCR (7), SPO (24), and データベース (2). The "ファイル種別" section has a list of file types with checkboxes: Archive (8), CAD (1), Excel (36), Image (24), Msg (2), PDF (32), PowerPoint (47), Text (5), Visio (2), Web Page (4), Word (4), and その他 (11). At the bottom right of the screenshot, there is a cartoon octopus character holding a magnifying glass and a folder.

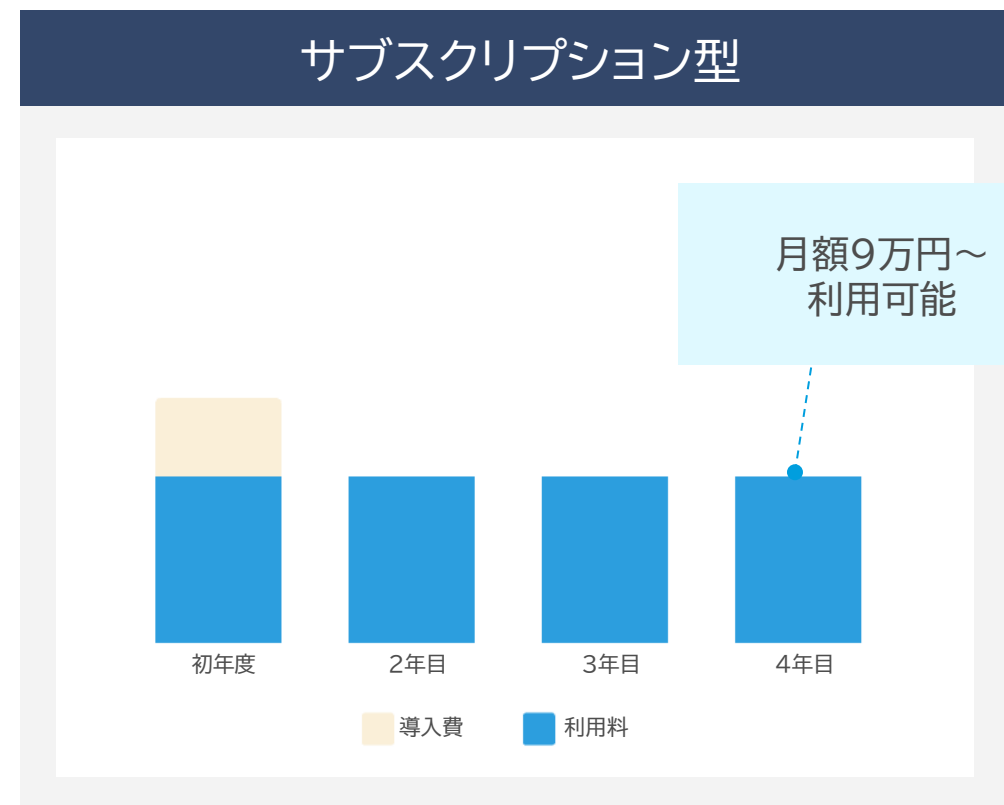


価格

ご予算やご利用シーンに合わせて最も最適なライセンスをご提案します
 ※いずれのライセンス形態でも、**利用人数(ユーザー数)は無制限**でご利用いただけます



- ・ 長期利用を見据え最もお得に利用したい
- ・ 資産として計上したい



- ・ 初期費用を抑えたい
- ・ 経費として計上したい

最後に

まずは無料評価版で
「Neuron ES」の効果を実感してください

製品
ご紹介



準備事項の
ご説明



評価環境
の準備



評価開始



判定
社内報告・稟議



本導入

- ・ 弊社より準備事項のご案内
※情報システム部門様のご同席をお願いします
- ・ お客様にてサーバ等のご準備
※サーバー貸出も可
- ・ 弊社にてセットアップから操作方法まで評価サポート
- ・ お客様にて評価期間中に製品の機能や特長をお試しください
※評価期間:1ヶ月
- ・ お客様にて導入の可否を決定

アンケートにご回答いただいた方へ、 本日の発表資料をお送りします

アンケート

各設問に回答後、画面下の「回答」をクリックしてください。

アンケートにご協力ください_できる管理者はOSとアプリを分ける！？～「苦労あるある」から考える、VDIの最適解～

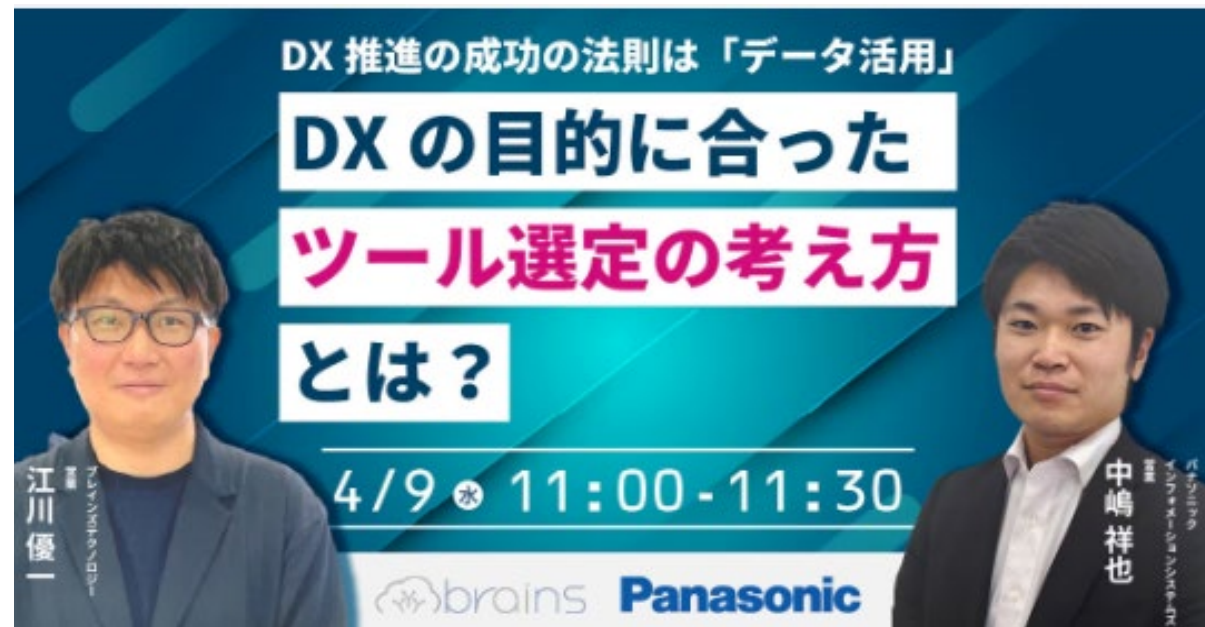
必須 1.会社名

必須 2.お名前

必須 3.セミナー資料を希望されますか

希望する

希望しない



セミナー終了後、本日のセミナーの「アンケート」が表示されます。
ご回答いただいた方へ、本日の発表資料をお送りします。



Panasonic